



で、孫やひ孫世代の社員ら「現場の先輩」として杉野と同じように毎日出勤してさんに作業を教えてもらって日々業務にまい進していたことがあるそうだ。現場で培ったノウハウ「若い社員も皆気軽に話や人生経験は周囲にとってかけてくれる。上下関係やも大きな刺激、財産となっている。毎日の仕事は本当に楽

上の従業員が全体の約30%を占める。他社を定年退職してから再就職者も多い。「基本的に働きたいと思っている方には働き続けてもらっている」(大石社長)。現在杉野さんをはじめ

コーケン工業・杉野繁子さん

御年89歳まだまだ現役、日々業務にまい進

コーケン工業には35年間「いい」と杉野さん。健康の勤務。現在は切断了たパイ秘訣は「好きなモノを食べ

事面での困りごとなどをヒアリングしている。

の油付け、洗浄、目視にたい時に食べること」とか。よる表面キズ確認などを担今でも肉は300gくらい当し、次の加工工程につながるを一人でペロリと平らげる作業を行っている。大という。

ノウハウを持った高齢者、ベテラン社員の「働きたい気持ち」が、コーケン工業の日々業務を支えている。

農業機械や建産機向けのパイ部品加工を手掛けるコーケン工業(本社・静岡県磐田市、社長・大石剛氏)の本社工場に勤務する杉野繁子さん。写真は昭和11年7月生の89歳。今も現役

石社長は、入社した時にコーケン工業では60歳以